

年度	2018年度	開講部局	先端物質科学研究科博士課程前期		
講義コード	R0001100	科目区分	専門的教育科目		
授業科目名	コミュニケーション能力開発				
授業科目名 (フリガナ)	コミュニケーションノウリョクカイハツ				
英文授業科目名	Lecture on Developing Communication Skills				
担当教員名	中ノ 三弥子,魚谷 滋己,櫻井 正治,シラバス授業計画等参照				
担当教員名 (フリガナ)	ナカノ ミヤコ,ウオタニ シゲミ,サクライ マサル,シラバスジュギョウケイカクトウサンショウ				
研究室の場所	先端科学総合研究棟704W	内線番号	4539		
E-mailアドレス	minakano@hiroshima-u.ac.jp				
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期 セメスター(前期)		
曜日・時限・講義室	(前)金3-4:担当教員の指定による,先401N				
授業の方法	演習	授業の方法 【詳細情報】	講義(演習形式も含まれる)		
単位	2	週時間	2	使用言語	J:日本語
対象学生	博士課程前期学生				
学修の段階	5:大学院基礎的レベル				
学問分野(分野)	21:社会人基礎				
学問分野(分科)	03:キャリア教育				
授業のキーワード	ディベート,コミュニケーション能力,キャリア開発				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ					
到達度評価の評価項目					
授業の目標・概要等	グローバルが進む社会で技術者や研究者として活躍するためには、専門領域の高い能力に加え、広い視野と柔軟な思考能力、倫理や国際的視点をもった企画能力、コミュニケーション能力が要求されている。本講義では、ディベート演習なども取り入れて、特にコミュニケーション能力の醸成を目的とする。ディベートを自ら体験するなかで、情報を収集分析し、体系的に考え論じ、相手に理解される能力を養う事を目的としている。また、本講義はマツダ財団のご支援で実施する。				
授業計画	<p>第1回 イントロダクション・企業と人材【4月13日】(中ノ 三弥子 / 県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真)</p> <p>本講義の背景、趣旨、目的について説明する。高度職業人として必要な素養について事例も含めて紹介し、国際化、情報化により市場経済が拡大し、競争が激化している中で、社会人にとってのコミュニケーション能力の必要性を解説する。</p> <p>第2回 グローバルな職業人としてのロジカルシンキング【4月20日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中ノ 三弥子)</p> <p>グローバル化社会におけるディベートの必要性について論じたのち、グローバル企業での業務という場面を題材に、論理的思考について考え、仮説思考、フレームワーク思考等の基礎を講義と演習を通じて学ぶ。</p> <p>第3回 ディベート論題 【4月27日】(櫻井 正治 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中ノ 三弥子)</p> <p>ディベートの「論題」と、その背景について考える。</p> <p>第4回 ディベートの概要【5月2日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中ノ 三弥子)</p> <p>ディベートについて、ねらい、進め方、役割を含め、ディベートの全容を示す。また、実際のディベートのビデオを通して、ディベートについての理解を深める。</p> <p>第5回 ディベート練習作戦タイム【5月11日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中ノ 三弥子)</p> <p>ディベートのチームを編成し、ディベート論題Ⅰに対してチームごとに作戦、役割分担を協議させることで、受講生によるディベート演習を可能な状況とする。</p> <p>第6回 ディベート練習 【5月18日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中ノ 三弥子)</p> <p>ディベート論題Ⅰ に対しディベート練習を行い、講評、指導する。(2セッションの後、講評・指導)</p> <p>第7回</p>				

授業計画	<p>ディベート練習 【5月25日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中)</p> <p>ディベート論題 に対しディベート練習を行い, 講評, 指導する。(2セッションの後, 講評・指導)</p> <p>第8回</p> <p>ディベート練習 【6月1日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中)</p> <p>ディベート論題 に対しディベート練習を行い, 講評, 指導する。(2セッションの後, 講評・指導)</p> <p>第9回</p> <p>ディベート論題 【6月8日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中)</p> <p>グループワークを通じ, ディベート本戦の論題を討議し, 本戦論題を決定する。その後, 反駁の仕方, 論理の矛盾, 等実践に即した視点を30分程度講義する。終わり次第, チーム毎に本戦に向けて準備する。</p> <p>第10回</p> <p>ディベート本戦作戦タイム【6月15日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中)</p> <p>チーム毎に, ディベート本戦に向けて, 打ち合わせを行う。</p> <p>第11回</p> <p>ディベート本戦 【6月22日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中)</p> <p>新しい論題について, ゲーム方式でディベート(予選)を行う。</p> <p>第12回</p> <p>ディベート本戦 【6月29日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中)</p> <p>同論題について, 組合せを替えゲーム方式でディベート(予選)を行う。</p> <p>第13回</p> <p>ディベート本戦 【7月20日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 中)</p> <p>同論題について, 組合せを替えゲーム方式でディベート(予選)を行う。予選の結果により, 決勝戦出場チームを決定し発表する。</p> <p>第14回</p> <p>ディベート本戦 【7月27日】(県立広島大学 特任教授 魚谷 滋己 / マツダ財団 常務理事・事務局長 山内 真 / 櫻井 正治 / 中)</p> <p>同論題について, 選抜チームによりディベート(決勝戦)を行う。決勝出場者以外は, 会場ジャッジとして1票を投じ, 全員参加の演習方式とする。優勝チームを表彰する。</p>
教科書・参考書等	講義のレジュメを中心とする。
授業で使用するメディア・機器等	ビデオ・パワーポイント等
予習・復習へのアドバイス	授業時に適宜案内する。
履修上の注意 受講条件等	(1)本講義はチームによるディベート演習が含まれているため, 受講者数が10名以下の場合にはチーム編成が困難となるため開講できない。また, 受講希望者が48名よりも多くなった場合にはディベート演習に参加が確約できる学生より抽選で受講者を決定する。(2)本講義におけるディベートは日本語で実施する。英語でのディベートを希望する学生は, 国際協力研究科開設の「能力開発特論」(X0010091)を受講すること。なお, その場合, 本講義との重複受講は認められない。
成績評価の基準等	取組態度と演習参加状況を総合的に評価する。
メッセージ	高度職業人として国内外で活躍する意思のある者には履修を強く奨める。専門とする学問分野は問わない。過去のディベート決勝戦の動画を下記URLで公開しているので受講の参考にすること。 http://home.hiroshima-u.ac.jp/pl/index-j.htm
その他	
すべての授業科目において, 授業改善アンケートを実施していますので, 回答に協力してください。回答に対しては教員からコメントを入力しており, 今後の改善につなげていきます。	